

みぞぐちとし



12月定例会、一般会計補正予算5千7百万 主だった副市長人事、ウッドコンビナート

ウッドコンビナート・土地開発公社 1月に全員協議会で議論へ

東有田にあるウッドコンビナートは、大分県のグリーンポリス構想を受け、平成8年に開発行為の許可を受け、平成11年3月に第1期の造成工事が完了し、4月から分譲を開始した。分譲で進出した企業は、製材工場、原木市場、家具製造、バイオマス発電等の13社であり、分譲率は60%と低迷している。

このうちの5社が、土地譲渡契約に基づく土地の支払い代金を10年間で徴収猶予をうけていた。しかし平成21年度に企業から猶予期間の延長の要望があり、4社と3年以内の期限延長の契約をしているのが現状です。

その3年も11月に期限を迎えるため、企業も行政も早急な対応が求められている。

議会としては1月中旬に全員協議会を開き、当初の支払い猶予の要因や条件、さらに3年延長をした



ウッドコンビナートの一部分

た要因等の経過と今後の方針、特に再延長や賃貸また契約履行の影響等について行政の説明を求め、る事になっている。

全会一

一致は出来ず 石松雅彰副市長再任

是非にと要望していたがそれが実現できなかった。

ことを主な理由として反対を貫いた。結果は多数を以て採択され、石松氏の再任となった。

今定例会で最も注目されていたのは、副市長の人事についてであった。

9月定例会で、市長が提案を引き下げた経

過もあり、どういった提案がなされるか見守っていたが、9月にしめされたものと同じであった。その時にも全会一致で承認される人物を

た。

私たち市民クラブは、選挙の責任者だった者を指名するのは問題があること、かつて副市長時に途中で辞職した

二度の提案で市長の期待は非常に大きいと思われる。責任を持ってその手腕を充分発揮してもらいたい。

もありませんが、皆さんに大変御心配をかけました。



父はその後心配する症状

とここで、最終日の本会議の欠席に多くの方から御心配の声を頂きました。当日は午前中委員会があり、終了後に実父が救急車で運ばれたという電話があり、議長の見舞いを受け病院に駆けつけたため、議会の終了に間に合いませんでした。

プラスワン

一般質問の12月8日議長に替わり一日議長席に座り議長を進めました。議長席からは、議長がよく見わたせ、誰が何をしているとか、また傍聴席の様子が手に取るようにわかりました。質問、答

弁の内容もよく聞こえ気になる内容もしばしばで、思いのほか緊張するなあと感じました。また機会があれば・・・

一般会計補正予算の主な内容

部 名	補正額(千円)	部 名	補正額(千円)
総務企画部	124,768	農林振興部	280
地域振興部	1,123	土木建築部	4,958
市民環境部	36,531	教育委員会	22,016
福祉保健部	4,068	議会・選管・他	15,476
商工観光部	6,438	合 計	57,714

12月定例会
までの総予算
378億
2896万円



本庁舎等照明設備
省エネルギー改修事業

本庁舎、別館の事務室内の照明の個別スイッチ取付け及び廊下、トイレ等に省エネ管を取付けるもの。

個別スイッチ 620個
省エネ管 500本

補正額 726万6千円

資料公開スペース
設置事業

行政資料等の情報公開のため、本庁舎の1階フロアに資料公開スペースを設置するもの。

補正額 145万3千円



日田消防署天ヶ瀬出張所
跡地購入事業

上の写真の天ヶ瀬出張所の跡地を日田玖珠広域消防組合から購入するもの。

土地の広さ
442.98㎡
(約 134坪)



補正額 952万9千円

新しい天ヶ瀬出張所は、日田市役所天ヶ瀬振興局のすぐ手前、日田から行けば右側にあります。

東日本大震災に伴う補正
非常備消防費

(消防団員等公務災害補償等共済基金掛金分)

東日本大震災により被災した消防団員の公務災害補償を行うため共済掛金の追加

補正額 2774万円

大山ダムに関連した補正

ひた水源地域観光開発事業

様々な物議を醸しだしていた大山の田来原の観光開発を中心とした計画の策定

補正額 367万8千円

(報酬 32万円)

(旅費 15万円)

(委託費 320万3千円)

子ども、児童福祉に関するもの
児童扶養手当事業

母子又は父子家庭に対し、児童の福祉の増進を目的に支給している事業で、受給者の増より、補正を行うもの

補正額 848万2千円

子ども医療費助成事業

子どもの保険の向上と養育している家庭に経済的支援のため子ども(未就学児、小学生、中学生「入院のみ」)の医療費を助成するもので件数の増による補正

補正額 1653万8千円

奨学資金貸付事業

本年4月に高等学校等に入学予定者に入学準備金の増額

補正額 102万6千円

日田市事業仕分け

1月14日(土) 試行

市長公約の事業仕分けが、1月14日(土)試行されることが定例会の一般質問で明らかになりました。

仕分けに係る内容は、義務的経費や経常的業務を除く5年以上継続している事業のなかでオムツ支給、英語授業招致等の8事業を行うとのことです。会場は市役所本庁舎7階大会議室ですので興味のある方はどしどし傍聴に。

運搬時間、衛生管理が問題 上津江に獣肉処理場を設置

農林業においてはイノシシや鹿による被害が年々増え続けており、大きな社会問題になっています。特に山間部の小規模集落ではその影響が大きく地域の脅威となってきました。その対策として捕獲等により個体数の減少を進めてきました。その捕獲したイノシシ等の獣肉を商品として流通させるため獣肉処理場を設置することになったものです。

いくつか問題点を指摘すれば

設置場所が上津江町川原のため旧市内で捕獲したものをここに運搬するのに長時間を要し、商品化することが出来なくなる心配がある。

解体処理によって地域の環境に悪影響が出ない衛生管理が徹底出来るのか。

等々がありますが、商品化には期待も大きくまた被害減少に役立つと判断し賛成しました。なお、施行開始は本年4月1日からで施設の建設費用は、1942万2千円です。

少子高齢化、過疎化の波か 旧郡部12校が4校に統合

学校教育は規模ではなく質であると云われるが、市内では少子化で児童数が急激に減少し教育の機会均等が保てない等の意見も少なくなく、小学校の統廃合の議論が重ねられてきた。

その中「過小規模小学校を統合し、学校規模の適正化、学校教育の機会均等、教育効果の向上を図る」目的で旧郡部の12校が4校に統合されることになった。複式学級の解消等の要望もあったが、様々な意見があり賛否が分かれている小中一貫教育制導入も背景にあり統合校の位置もその目的に沿う形で決定されており今後の推移に注目している。

少子化の進展による施策であるが、地域に学校がなくなることは、さらに過疎化に拍車をかけることにもなると少なからぬ危惧もあり、また統合だけで少子化における教育問題の解決が果たせるのかという疑問も残る。

昭和38年に発足した「日田市奨学金」制度は現在平成23年度までに約2000名が利用し人材の育成に寄与してきました。

また運営上でも、募集が年一回のため、その主な内容は、年度中途の募集・専

象から外れる等々の課題があり、貸付要件を緩和することになりました。

範囲を広げられないか返還期間の延長が出来ないか、等々が強くなってきました。

また運営上でも、募集が年一回のため、その主な内容は、年度中途の募集・専

象から外れる等々の課題があり、貸付要件を緩和することになりました。

しかし近年の景気低迷で、奨学資金を希望する人の要望も、入学準備金のみのお貸与ができないか

専修学校の対象校の

年度途中での修学困難者や中途での新規入学に対応できない

経済的に修学困難な生徒が成績を理由に対

長等です。

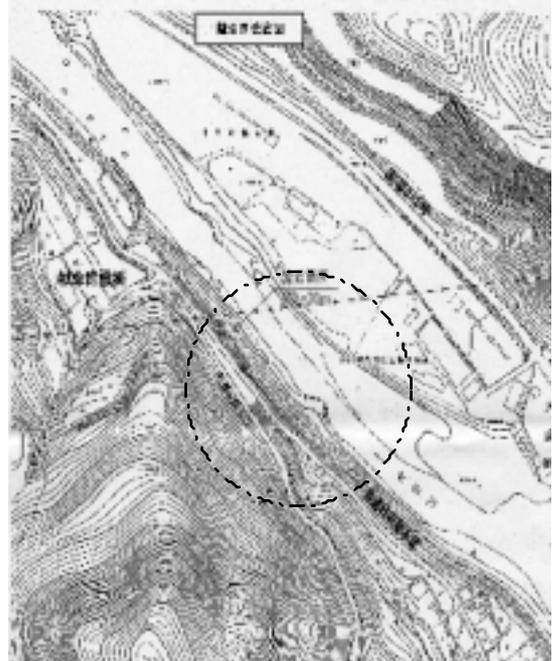
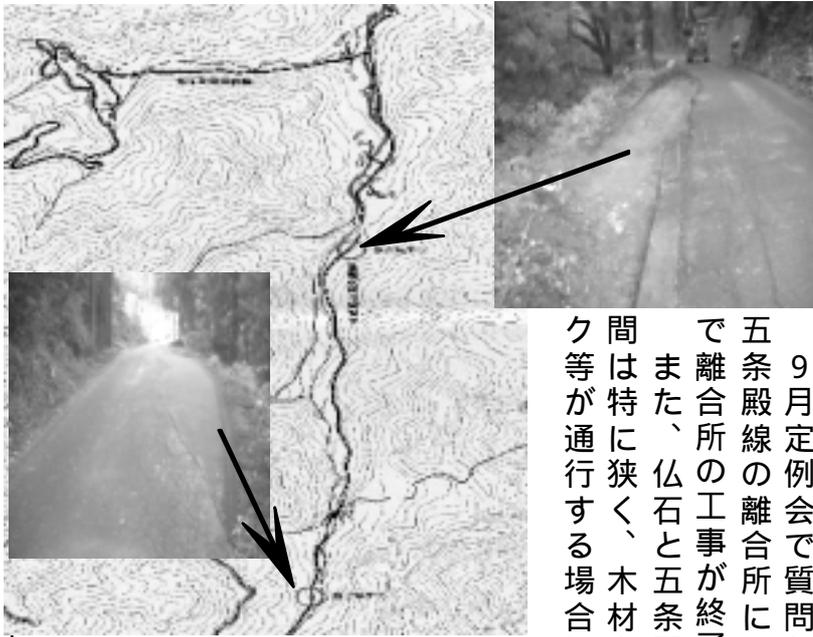
要件緩和で利用しやすい制度に変更なると評価しています。

日田市奨学金制度が 使いやすくなっています

修学校の範囲拡大・返還期間の延

統合前の学校名	人数	統合後の学校名	人数
大野小学校	28名	前津江小学校	48名
出野小学校	5名		
赤石小学校	15名		
中津江小学校	36名	津江小学校	65名
上津江小学校	29名		
馬原小学校	49名	東溪小学校	128名
台小学校	14名		
丸山小学校	34名		
桜竹小学校	31名		
五馬小学校	36名		
塚田小学校	17名	いつま小学校	74名
出口小学校	21名		

離合所工事が 進められています



県道日田鹿本線の八幡町内の道路について、先年の知事との懇談会で離合所の整備が約束されながら進んでいないとの地元からの指摘があり、その箇所について県会議員や県の西部振興局との話し合いを進めた結果、来年度から具体的な土地の折衝や工事に着手するようになったと報告をうけています

9月定例会で質問した市道(銭花)五条殿線の離合所について一部区間で離合所の工事が終了しました。また、仏石と五条殿の停留所の区間は特に狭く、木材を積んだトラック等が通行する場合ほとんど離合困難でしたが、一か所離合所ができたことで少しは解消できると思います。

土地の話し合いができれば他にも進める事ができると思いますので、よろしく。

安心、安全確保のための消防力の強化 平成28年度までに 120名体制に 広域消防組合議会で確認

災害や急病などから、生命と財産を守るため消防士増による消防力の強化は必要不可欠です。12月27日に行われた広域消防組合議会での、私の一般質問に対する答弁で現状の105名から平成28年度までに120名体制にすることが確認されました。現状非常に厳しい出勤体制にあると言われているだけに、その解消に向けた確認が出来たと考えます。

加えて、高規格救急車を有効に活用するための救急

救命士の増員についても確認、要望を行ってきました。現状の職員採用の受験資格では救急救命士資格保有者には年齢等で厳しい内容となっておりその緩和等についても検討するとの答弁を得ています。また、来年度は資格保有者に限定した採用試験も検討しており早急な体制作りも考えられています。また女性消防士の積極的な採用についても検討しているとの答弁もあつたところです。

森林業をなんとかしたい
日田市林業活性化協議会会長になりました

一時解散が検討された日田市林業活性化議員連盟について、活動を地道に進めて行くことを条件に再設立され、従来から日田は森林林業が中心という思いが強く頑張ってみようと思いい立ち、会長を引き受けることにしました。

今年度と次年度は日田市の行政や製材所、森林組合などの林業関係者から話を聞く研修会を中心に、課題等について様々な施策についての検討を重ね、役に立つ議員連盟にしたいと燃えています。